

大学を選ぶということ！

3年生は就職希望者・進学希望者共に6月20日が「進学志望校調査」「就職希望調査」それぞれの志望校や企業名を記載した調査用紙の締め切りでした。集計する中で進学希望先の正式な学校名、学部名、学科名が書けない生徒が多くいました。このような書類の一枚も書けない生徒が本当に自分で出願できるのでしょうか？とても心配です。

また志望校についても「大学と名が付けばどこも一緒！」「入れる大学に進学する！」と考えている人はいませんか？今、大学で問題となっていることは、退学者の増加と学力不足！受験勉強をしないで大学に入学する生徒たち=学力不足、楽しんで入学=退学者の増加、明確な目標を持って進学すれば問題ないが、入れる大学へと考えた生徒=学ぶ目標が不明確であることは現実です。「大学に入学して何を学びたいのか？」志望理由をしっかりと考えて下さい。自分が学びたい内容が充実した、自分に合った大学を選んで入学して欲しいと思います。生涯の学歴にもなる大学です。ただ入りやすいから、近いからだけで選ばないようにして下さい。夏休みにはオープン・キャンパスが実施されます。大学の雰囲気を知る良い機会です。いろいろな大学に行き実際の学生からも話を聞くと良いでしょう。

進学新着情報！

千葉工大から昨年同様に指定校推薦の依頼が来ましたが、工学部は評定 4.2 以上に変更されました。文京学院大(外国語、経営他)から指定校推薦の依頼が来ました。評定の基準は 3.3 以上です。(但し外国語は英語評定 3.7 以上なども加わる)さらに東京女子体育大(体育/体育)で単年度指定校の依頼が来ました。評定 3.6 以上、高校で 2 年以上運動部に所属などの条件となっています。興味がある生徒は進路室まで来て下さい。2018 年度入試用の指定校一覧は終業式の日(7/20)に教室掲示となります。

教育実習生インタビュー！

本校卒業生、本田純基(流通経済大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 4 年)

①高校生活の思い出は何ですか？

私の高校生活の思い出は部活動です。私は法典高校の陸上競技部に所属していました。3 年次から部長としてインターハイ出場に向けて走り込みの毎日でした。結果は関東大会で終わってしまいましたが、今でも学生生活で一番輝いていた時期だと思っています！

②今大学で学んでいることを教えてください！

教職の勉強はもちろん、栄養学を専攻しておりアスリートの健康的な増量・減量を学んできました。実際に大学の学生や教授の皆さんに食生活のサポート・指導と同時に運動のサポートやアドバイスにも取り組んでいます。

③今回の実習を通じて学んだことは何ですか？

多くの先生方からアドバイスや指導をいただき、効率の良い授業展開の方法や 1 人の教育者としての基礎を感じながら学ぶことができました。既存の知識にとらわれずに常に学び続ける大切さに気づきました。

④法典高校の後輩に一言！

高校生はたった 3 年間しかありません。大人になり、高校時代を振り返ったときに良い思い出が沢山思い出せるように今を一生懸命楽しんでください！目標・夢を持ち続けて前を向いて頑張ってください！

3年生就職・公務員説明会！

5月29日(月)3年生就職希望者への説明会を実施しました。合計80名余の就職希望の生徒が集合しました。7月1日からはいよいよ求人票の受け付けが開始されます。就職活動の開始です。3年生の皆さん内定100%を目指して頑張りましょう。求人票の公開は7月10日(月)期末考査最終日、放課後からとなります。

3年生「志望理由書」書き方講座！

6月5日(月)諏訪洋介先生を迎えて「志望理由書」書き方講座を実施しました。「志望理由書」は多くの生徒にとって書かなければいけないものです。また、面接の際にも準備しなければいけないものです。今回の内容やプリントを参考にして準備を進めてください。

3年生面接指導講座Ⅱ！

6月19日(月)5・6限に大学・短大、専門学校、就職と別れてグループ面接を中心とする面接指導講座Ⅱを実施しました。まだ不慣れな点はたくさんありますが、一生懸命準備をして答えようとがんばっていました。講師の先生方からもとても良いと褒めて頂きました。面接は練習すればするほどよくなります頑張ってください。

学力総合マーク模試(進研模試)！

6月5日(月)～7日(水)の3日間、大学受験用の進研模試を実施しました。今年は1名の3年生が受験しました。大学を目指す生徒が、1度も模試を受けたことがないということは本当はあってはならないことだと思いますが、今年は残念な状況でした。1か月後には全国偏差値や志望校判定の結果が出ます。

小論文模試！

6月22日(木)に小論文模試が行われました。今年は12名の3年生が受験しました。19日より3日間模試対策としてテキストを使っての事前講習会も実施されました。小論文が必要な生徒は早めに準備していく必要があります。

船橋市独自の修学資金の貸付を知っていますか！

船橋市では待機児童対策として市内の保育園などで保育士として将来勤務する意思のある人に指定保育士養成施設在学中の就学資金(月3万円)の貸付を行っています。卒業後に市内の保育園(無認可・認証は除外)で就学期間以上勤務すると、貸付金の返金が全額免除されます。大学・短大・専門学校など養成校に入学したのち4～5月にかけて募集が行われます。来年度の詳細は未定ですが保育士希望の生徒はぜひ知っておいて下さい。

求人票の受付開始！

7月3日(月)より求人票の受付が始まります。多くの会社の方が来校されます。その時出会った生徒の印象が学校の評価となってしまいます。必ず元気よく挨拶をして、だらしない服装で廊下でスマホをいじっていたり、大声を出したりなどないようにしてください。

私の受験生時代(3年B組担任岩本憲之)

私が福岡県立田川高校3年で受験生だった頃(後輩の井ノ森先生が高校1年生だった様だ。)我が家は、当時貧困のため生活保護を受けていた。2年生の文化祭で見た映画スタインベック作の『怒り葡萄』の影響か、どうしたら貧困から抜け出せるかを常に自分なりに考えていた。結局は、自分が勉強して、自分の境遇を改善するしか貧困から抜け出せる方法はないということに気づき、とりあえず、その当時のベストセラーであった青春出版社の『試験に出る英単語』や『試験に出る英文法』などの受験参考書類を勉強した。人それぞれ「やる気」が起きるきっかけは違うと思いますが、私の場合はこれがきっかけで人並みに勉強するようになった気がします。今と違って、推薦入試自体がほとんどなかったのも、受験と言え一般入試でした。ましてやAO入試なんて全くありませんでした。だから、大学に進学したければ一般入試の為の勉強をするしか方法はなかったのです。

受験する事は決まったものの最大の障害は学費です。母親に学費を出してもらう事は難しかったので、新聞奨学生と日本育英会(現在の日本学生支援機構)を併用して金銭問題を一応解決し、受験校も当時の私立文型の大学としては破格の安さを誇る、日大法学部(1年目60万円、2年目以降で各40万円だったと思います)に進学しました。進路を決定する事は自分の人生を自分で選択することです。20年後、30年後になっても後悔する事なき様に、皆さん、自分の道を自分で切り開いていってください。

次回は3C担任矢野先生の巻